

2026 年 10 月 15 日

各 位

「クリオ レジダンス大船シーズンテラス」・「クリオ横浜ザ・グラン」

2026 年度グッドデザイン賞 3 年連続 W 受賞

明和地所株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：原田英明）は、集合住宅「クリオ レジダンス大船シーズンテラス」と「クリオ横浜ザ・グラン」の 2 物件において、2026 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しましたのでお知らせいたします。当社が手掛ける集合住宅のグッドデザイン賞受賞は 10 物件となり、3 年連続 2 物件同時受賞となります。

◇「クリオ レジダンス大船シーズンテラス」

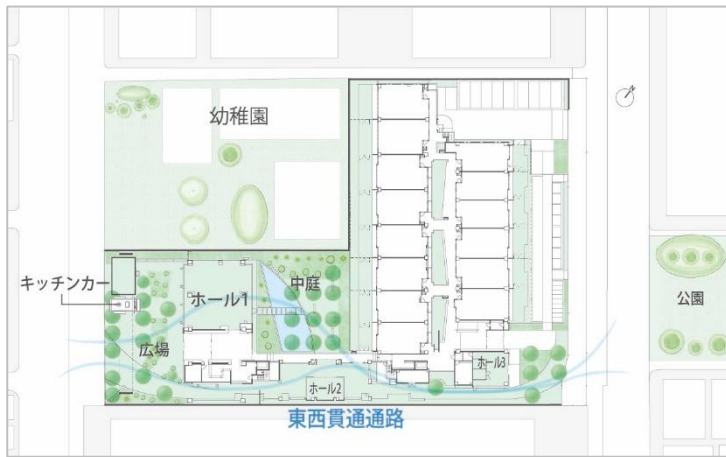


本プロジェクトは、横浜市の公募プロポーザルを経て推進された事業です。敷地内の緑豊かな広場や通路、集いの場を地域にひらくことで、住む人だけでなく街全体に心地よい憩いと交流を生み出すデザインが高く評価されました。

主なデザインポイント

1. 地域コミュニティを育む「地域共生」と空間構成

東西街区を結ぶ敷地内の貫通通路や広場、地域貢献施設（コミュニティホール）を連動させて配置。敷地の約半分を地域に開放することで、居住者だけでなく地域住民にもひらかれた「中間領域」を核とした設計により、自然な交流が生まれるコミュニティの醸成を図っています。また、敷地内には防災倉庫等を設置し、万一の際の地域防災拠点としての機能も備えています。



敷地配置図

2. 自然エネルギーを活用する「環境共生」と「パッシブデザイン」

光や風などの自然エネルギーを有効活用する「パッシブデザイン」を採用。地上部に配した豊かな植栽や水辺空間の蒸散効果によって生じる冷気が微気候を生み出し、夏場の温熱環境を敷地全体から住戸レベルまで改善します。さらに、風の通り道を確保することで快適な住空間を創出しています。

また、高断熱・高効率設備の導入により「ZEH-M Oriented」認定および「BELS」最高ランク 5 つ星を取得しています。

バルコニーにはツル植物用のワイヤーを配備しており、植物を育てることで、直射日光を和らげて住戸の温度上昇を抑える効果を発揮するとともに、季節の移ろいがマンション外観に美しい表情を与えます。



パッシブデザイン概念図

3. 街並みに溶け込む美しさと心地よい居場所づくり

落ち着いた邸宅感のある建築デザインと、既存樹と調和する豊かな樹々が緑の中に静かに佇む風景を形成。ゲート・水景・広場・森を一体的にデザインすることで、敷地内へ足を踏み入れるにつれて心がほどけるようなリラックス空間を実現しています。



ホール 1



中庭

審査委員による評価コメント

中小規模の民間集合住宅は、住戸を積み重ね共用部を通過動線として扱う構成を、社会状況が変わった今も反復してきた。この計画は、その前提を疑い、敷地の約半分を地域に開いた地上空間へ再編したことにまず価値がある。開放を公開空地の付加で済ませず、4棟のうち2棟を持ち上げて一枚の地上空間を差し込むという配棟からの操作で成立させた点に、類型そのものを問い直す姿勢が表れている。住棟を浮かせる判断は、構造と工事費の負担を引き受けたうえでの選択であり、事業性との折衝を相当に重ねた結果と推察される。建築と重なる部分もコミュニティホールとして連続させ、交流や防災の機能を一つに重ねた解法は的確である。開放を空間の演出に留めず、運営の仕組みまで設計した点にも参照価値がある。管理員を裏方から媒介者へ位置づけ直す整理は、開かれた集合住宅が抱えるセキュリティと管理の課題への現実的な回答であり、キッチンカーや農産物の販売が日常として動き始めている事実がその実効を裏づけている。私的な資産としての住宅を社会の基盤へ引き上げる道筋を、運営を含めた具体で示した計画として支持したい。

物件概要

- 【所在地】 神奈川県横浜市栄区笠間三丁目 11-1 番
- 【交通】 (1) JR 東海道本線・JR 横須賀線・JR 湘南新宿ライン・JR 京浜東北線・根岸線
「大船」駅徒歩 11 分
(2) 湘南モノレール江ノ島線「大船」駅徒歩 15 分
- 【用途地域・地区】 工業地域、第 5 種高度地区、法 22 条区域
- 【構造・規模】 鉄筋コンクリート造・地上 7 階
- 【総戸数】 138 戸（住戸 134 戸、コミュニティホール 2 戸、集会室 1 戸、管理事務室 1 戸）
- 【専有面積】 54.35 m²～110.02 m²
- 【間取り】 2LDK～4LDK
- 【竣工時期】 2025 年 6 月
- 【売主】 明和地所株式会社
- 【設計会社】 株式会社イクス・アーク都市設計
- 【施工会社】 株式会社大勝

プロデューサー	明和地所株式会社 開発事業本部 米丸 陽
ディレクター	明和地所株式会社 開発事業本部 建設二部 古沢 研、山本 宏
デザイナー	株式会社デザインショップ・アーキテクト 篠原 崇明 株式会社いろ葉 Design 大武 一伯 株式会社イクス・アーク都市設計 山中 悠吾 株式会社チームネット 阿部 寛人

受賞ギャラリー（グッドデザイン賞 Web サイトでの紹介ページ）

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/36016>



「クリオ横浜ザ・グラン」が位置する横浜駅徒歩5分圏内（鶴屋町エリア）は、商業・業務施設が密集し、狭隘な道路や対面建物との近接など、居住環境（特に家族が安心して暮らす環境）としては視線や騒音等の課題を抱えていました。本計画では、この商業密集地を単なる利便性の高い場所として捉えるだけでなく、家族が豊かに暮らせる都市生活の拠点へと転換することを目指しました。周囲からの視線を遮るバルコニー設計（＝閉じる）と、敷地沿いに豊かな緑や憩いのベンチを設けて地域に潤いを提供する仕掛け（＝開く）で、街への「開き方」と「閉じ方」を同時に見直すデザインを追求しました。

主なデザインポイント

1. プライバシーと開放性を両立するファサード設計

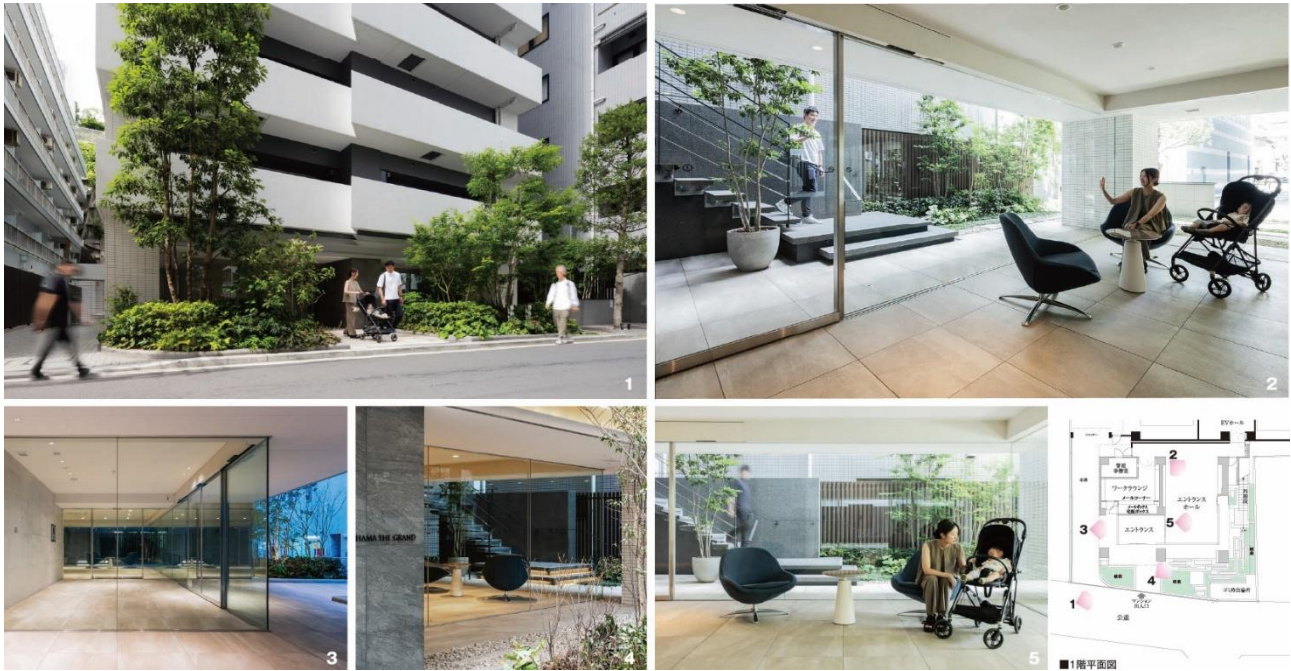
バルコニー手摺をあえて躯体化（コンクリート化）することで外部からの視線を遮りつつ、広い開口を確保。十分な採光と通風を取り込める安心で快適な住空間を実現しました。

2. 街並みの圧迫感を低減するふたつの分節デザイン

建物全体を大きく2つのボリュームに分節し、水平ラインを強調することで、密接する周辺環境への圧迫感を軽減。猥雑になりがちな街並みに適度なリズムと動きを与えています。

3. 地域と暮らしを緩やかにつなぐ中間領域の創出

建物と道路の間にゆったりとした空間（スペース）を確保し、そこに豊かな緑（植栽）を配置しました。足元には避難階段の接地部を活用した縁台・ベンチを設け、ガラス張りの開放的なエントランスホールとともに、地域の人々や居住者が自然に立ち寄り・邂逅できる街の居場所を創り出しました。



審査委員による評価コメント

バルコニーの白い軒天井と、それに連続する手すり壁が印象的な外観を生み出している。特に、バルコニーの先端を雁行させ、エッジを鋭角にすることで、街に対してファサードを明確に分節するデザインとしており、細部にまで行き届いた設計者のこだわりが感じられる。道路から見上げると閉じたファサードでありながら、室内から水平に見ると視界が抜ける開かれた構成となっており、「街へ閉じつつ開く」というコンセプトを実現している点も評価したい。沿道の外部空間を緑化し、街の景観形成にも寄与している。猥雑な街並みのなかに、端正な外観と緑豊かな居場所を生み出した、優れた集合住宅である。

物件概要

- 【所在地】 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町二丁目 9-15
- 【交通】 (1) 東急東横線、横浜高速鉄道みなとみらい線、JR 東海道本線・横須賀線・
湘南新宿ライン・上野東京ライン・京浜東北線・根岸線・横浜線、京急本線
「横浜」駅徒歩 5 分
(2) 相鉄本線「横浜」駅徒歩 7 分
(3) 横浜市営地下鉄ブルーライン「横浜」駅徒歩 9 分
- 【用途地域・地区】 商業地域、防火地域、第 7 種高度地区、中央地区駐車場整備地区、
エキサイトよこはま 22 地区、台町西急傾斜地崩壊危険区域
- 【構造・規模】 鉄筋コンクリート造・地上 11 階建
- 【総戸数】 81 戸（住戸 80 戸、管理事務室 1 戸）
- 【専有面積】 33.06 m²～80.66 m²
- 【間取り】 1LDK～3LDK
- 【竣工時期】 2025 年 3 月

【 売 主 】 明和地所株式会社
【 設 計 会 社 】 株式会社嘉環境設計
【 施 工 会 社 】 馬淵建設株式会社

プロデューサー 明和地所株式会社 開発事業本部 米丸 陽
ディレクター 明和地所株式会社 開発事業本部 建設二部 山本 宏
デザイナー 株式会社ムービング・アーキ 李 孝哲
株式会社いろ葉 Design 大武 一伯
株式会社嘉環境設計 石川 敬典

受賞ギャラリー（グッドデザイン賞 Web サイトでの紹介ページ）

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/36576>

グッドデザイン賞とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。 <http://www.g-mark.org/>

明和地所グループは住まいに関わる事業を通じて、社会や環境に貢献する企業として成長してまいります。



本リリースは現時点での情報を基に作成されており、変更になる場合があります。

【本件に関するお問い合わせ窓口】

明和地所株式会社 社長室
電話 03-5489-2888／FAX 03-3780-3101